

下関集落営農法人技術力向上研修

JA下関担い手組織協議会が水稻・大豆技術力向上研修を開催

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 7 月 8 日 | 下関農林事務所農業部

6月28日(火)に、JA下関担い手組織協議会主催の水稻・大豆技術力向上研修が開催され、集落営農法人等23の担い手組織から43名が出席しました。

研修会では、水稻の水管理や病害虫防除についてJA下関の営農指導員が講習を行いました。特に、県内で発生が多くなっているイネいもち病について、ほ場を観察し、発生が確認されたら早期防除するよう注意を促しました。

また、大豆については播き遅れ対策として播種量を増加することや雑草防除のための中耕培土の時期、除草剤の活用について下関農林事務所の職員が講習を行いました。

座学終了後、「農事組合法人宇内薬師の里」のほ場へ移動し、現地研修を行いました。法人の経営概要等について河地代表理事から説明があった後、きぬむすめの生育状況や山口県オリジナル黒大豆「のんたぐろ」の発芽状況を確認し、今後の管理について出席者全員で目合わせをしました。

JA下関担い手組織協議会では、今年度8回程度の栽培技術向上等の研修会を計画しており、下関農林事務所は、今後も関係機関と連携して、担い手組織の継続した経営安定を目指す研修等を支援していきます。

(下関農林事務所農業部 松本三恵)



水稻の今後の管理について講習を受ける担い手組織のみなさん



現地研修の様子((農)宇内薬師の里にて)

問合せ先

メール：a171071@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1206